



【学習目標】

・数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の特徴、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。

・数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象データの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。

・数量や図形に進んで関わり、学習で学んだことをふり返り、様々な考え方で粘り強く考える態度、算数のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活かそうとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「新しい算数3上」 「新しい算数3下」	(東京書籍)
副教材	計算ドリル 計算ドリルノート 計算のたしかめ	(青葉出版)

持ち物		
教科書	ノート	計算ドリル
計算ドリルノート	定規	コンパス
三角定規	筆箱	下敷き タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことや大事だと思つころに印をしたり、調べたりして、予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合ひましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前期	後期
<p>1. 九九を見直そう</p> <p>2. 時ごとと時間のもつめ方を考えよう</p> <p>3. 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう</p> <p>4. 大きい数の筆算を考えよう</p> <p>5. 長い長さをはかって表そう</p> <p>6. 記ろくを整理して調べよう</p> <p>7. 数をよく見て暗算で計算しよう</p> <p>8. わり算を考えよう</p> <p>9. 10000より大きい数を調べよう</p> <p>10. 大きい数のかけ算のしかたを考えよう</p> <p>11. わり算や分数を考えよう</p>	<p>12. まるい形を調べよう</p> <p>13. 数の表し方やしくみを調べよう</p> <p>14. 重さをはかって表そう</p> <p>15. 分数を使った大きさの表し方を調べよう</p> <p>16. □を使って場面を式に表そう</p> <p>17. かけ算のひっ算を考えよう</p> <p>16. かけ算の筆算を考えよう</p> <p>◎倍の計算</p> <p>18. 三角形を調べよう</p> <p>◎そろばん</p>

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
<p>知識</p> <p>数量や図形などについて理解し、それらの感覚を豊かにしている。計算や測定、表やグラフに表すなどの技能を身に付けている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子 単元テスト ワークシート ノート 計算ドリルノート</p>	
<p>思考・表現</p> <p>数の表し方や計算の仕方などを考察する力、ものの量を的確に表現する力などを身に付けている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子 単元テスト ワークシート ノート 計算ドリルノート</p>	
<p>主体的に取り組む態度</p> <p>数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>発言・発表 授業の様子 ノート ふり返り 自主学習</p>	